

CO₂削減コラボレート企画

貴社のワークカフェ（食堂）・レストルームなどにアサヒ飲料（株）のCO₂を食べる自販機を設置することでSDGsに貢献できます。

Asahi

アサヒ飲料株式会社
《CO₂を食べる自動販売機》



スズ20本分/年間に相当するCO₂吸収量

《CO₂を食べる自動販売機のSDGs貢献》

目標12「つくる責任、つかう責任」においてはつかう責任として消費電力削減、CO₂吸収・貯留、吸収材を活用した廃棄物削減（タイル）に貢献をいたします。**目標13**「気候変動に具体的な対策を」に直接貢献をいたします。



—人と環境にやさしい空間創造—
KUROGANE

株式会社くろがね工作所
《カーボンニュートラル認証製品》



Steelcase Think Chair

1.9本の苗木を10年間成長させるCO₂排出量を気候変動の影響を緩和する質の高いプロジェクトにてオフセット

《カーボンニュートラル認証製品のSDGs貢献》

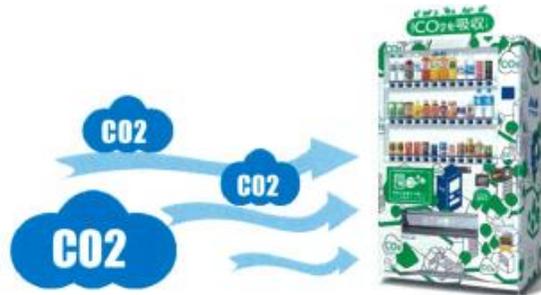
目標07「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」においてクリーンエネルギーの利用拡大によりカーボンオフセット**目標13**「気候変動に具体的な対策を」に直接貢献をいたします。



《CO₂を食べる自動販売機・カーボンニュートラル認証製品共通のSDGs貢献》

目標11「住み続けられるまちづくり」CO₂排出量の削減は、都市の持続可能な発展や空気の質の向上に貢献します。特に交通や建物のエネルギー効率化が都市環境の改善につながります。**目標14**「海の豊かさを守ろう」海洋酸性化の進行を抑えるためには、CO₂排出量を削減することが不可欠です。CO₂の減少が、海洋生態系への悪影響を軽減します。**目標15**「陸の豊かさを守ろう」CO₂削減により、森林や他の生態系の健康が保たれ、温暖化の進行が抑えられます。これにより、動植物の多様性も守られます。





POINT 1

吸収材を搭載
自販機庫内に吸収材を
搭載定期的に交換を行
います



POINT 2

CO2資源循環
回収した二酸化炭素は工業
原料として資源循環を計画
※工業原料化の費用は別途御相談



POINT 3

業界初!!
特許を取得済み
(特許第7282338号)

自販機の設置に関して



デザイン例

通常のアサヒブルーはもち
ろろん、ラッピング対応にも
可能（要相談）

0

 ¥

追加費用無し

「CO2を食べる自販機」を設置しても、
追加のお客様負担はございません。
(従来同様に設置費用も当社負担です)

CO2吸収量の目安



スギの木

樹齢56-60年のスギの
木約20本分に相当



人の呼吸

人が1日当たり排出するCO2
量の最大約60人分に相当

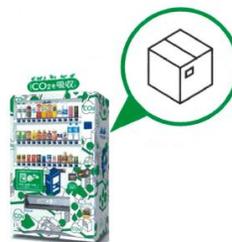


自動車排気

1人移動の自動車が400km走
行する際に排出するCO2量に
相当

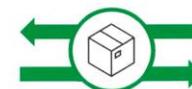
※「CO2を食べる自販機」のCO2吸収量は最大で1台当たり年間60kg。この数値は設置環境
によって変化します。

自販機本体と吸収材回収の仕組み



吸収材を搭載

自販機庫内に吸収材を搭載
定期的に交換を行います



オペレーション

自動販売機への商品補充の
再、吸収材もルートマンが
交換します



吸収材メーカー

回収した吸収材はメーカーに
送付 当社・オペ・メーカー
の協力体制を構築

※ 設置には一定の条件がございます。

100年のワクワクと笑顔を。

アサヒ飲料

—人と環境にやさしい空間創造—
株式会社くろがね工作所

《設置のお申込み》

CO2を食べる自販機のお申込みは下記にご連絡を御願います。
アサヒ飲料(株) 近畿圏本部 担当: 松本 正弘
TEL:090-6954-0153 E-Mail:masahiro.matsumoto@asahiinryo.co.jp
お申込みの際は「くろがね工作所」の提案とお伝えください。

CO₂を食べる自動販売機 設置イメージ

